

# 東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・システム情報	科目：	システム実習Ⅱ	単位数：	4	指導学年：	3
使用教科書	自校作成資料	副教材					

年間指導目標：

システム情報分野に必要な基本的な知識を身に付け、将来、産業界に貢献できる資質と素養を確立する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	システム情報分野の学習に必要な基本的な知識・技能を身につけている。	システム情報分野の実習課題について、実習課程の状況・結果、原理・法則などから課題解決に向けて考え、判断・工夫し解決している。	システム情報分野の実習内容に関連し、積極的に取り組み、学習を通じて探究する能力・態度を身につけている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	第1ローテーション 1. OSのインストールと設定、LINUX OSの基礎 2. GPIOを用いた入出力制御の基礎 3. ネットワークの基礎 4. Webサーバを用いたコンテンツ作成の基礎	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・ワンチップマイコンの基本が理解できている。 ・VBAの基本機能が使用できる。 ・組み合わせ論理回路の働きが理解できる。						24
			(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。						
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。						
1 学期	期末 考査	第1ローテーション プログラミング制御 LEGOブロックを使用したプログラミング制御 1. ライトレースカーの制御 2. 玉拾いロボットの制御	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・ワンチップマイコンの基本が理解できている。 ・VBAの基本機能が使用できる。 ・組み合わせ論理回路の働きが理解できる。						24
			(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。						
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。						

2 学期	中間 考 査	第2ローテーション ①ワンチップマイコンPICを用いたC言語によるハードウェア制御実習後期	(知)	・ワンチップマイコンの応用技術を理解している。 ・データベース言語を用い、データ操作の基本が使用できる。 ・ラダー言語・制御電気回路の基本を理解している。		○	○	○	○	32
		② MySQLとVisual C#を使った、データベース実習	(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。		○	○	○	○	
		③プログラマブルコントローラを使用した機器制御実習。	(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。		○	○	○	○	
2 学期	期 末 考 査	第2ローテーション (続き) ①ワンチップマイコンPICを用いたC言語によるハードウェア制御実習後期	(知)	・ワンチップマイコンの応用技術を理解している。 ・データベース言語を用い、データ操作の基本が使用できる。 ・ラダー言語・制御電気回路の基本を理解している。		○	○	○	○	32
		② MySQLとVisual C#を使った、データベース実習	(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。		○	○	○	○	
		③プログラマブルコントローラを使用した機器制御実習。	(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。		○	○	○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	第2ローテーション C A D実習 電子回路作成C A DであるEagleを用いて、次のものを作成する。	(知)	・ワンチップマイコンの応用技術を理解している。 ・データベース言語を用い、データ操作の基本が使用できる。 ・ラダー言語・制御電気回路の基本を理解している。		○	○	○	○	44
		1. 電子回路図	(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。		○	○	○	○	
		2. 基板パターン図 まとめ実習	(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。		○	○	○	○	
合計										156